

広報

# しおばら

8

2013/August  
No.101

Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

庄原にいるからで  
きること  
見つけてみませんか？

## 2 特集 ずっと庄原で暮らしたいから

13 戦争・被爆体験を後世に

14 「ブラモニ」募集します

市政懇談会を開催します

16 第2期庄原市行政改革大綱を策定します

17 ハートネットTV公開録画観覧募集

18 児童扶養手当・特別児童扶養手当

住宅・土地統計調査を実施します

19 シニア100歳まで楽しめる野菜づくり

安心・安全な毎日のために

20 健康広場

22 カメラレポート

34 積み重ねて20回

21 市政トピックス

26 お知らせ

ミュージックエンタ

福島県いわき市から口和町湯木に移住した福元さんご夫妻が経営するふくふく牧場で庄原さとやま体験が開催。親子連れなど20人が乳搾りやチーズ作りを体験しました。(関連記事2~12ページ)

# 定住対策が必要な「理由」

## 止まらない人口減少

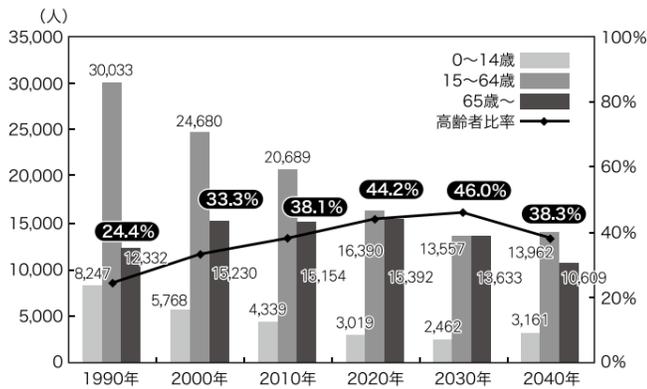
本市の人口は、合併した平成17年3月末時点で4万3149人だった。しかし、平成24年3月末では3万9221人と4万人を下回った。死亡より出生が少なく（自然動態）、転入よりも転出が多い（社会動態）という傾向が続いている。

国立社会保障・人口問題研究所が予測する本市の人口は、平成32年（2020年）には人口が3万4801人、生産年齢人口（15～64歳）1万6390人に対し、高齢者人口（65歳以上）が1万5392人で、高齢者比率が44.2%まで上昇。2人に1人が高齢者になる。これは全国平均よりも50年も早い。75歳以上の高齢者人口は、今後20年あまり変わらないと予測され、市税収入の減少、高齢者福祉の担い手不足、社会保障費の増加は避けられない。特に生産年齢人口や年少人口（0～14歳）の減少は地域の経済や活力、市民生活などに直接的な影響を及ぼすため、定人口を維持・確保することが極めて重要と言える。

## 定住環境の向上が不可欠

そのためには、庄原に住んでもらわなければならない。それには「庄原で暮ら

（資料1）庄原市人口予測



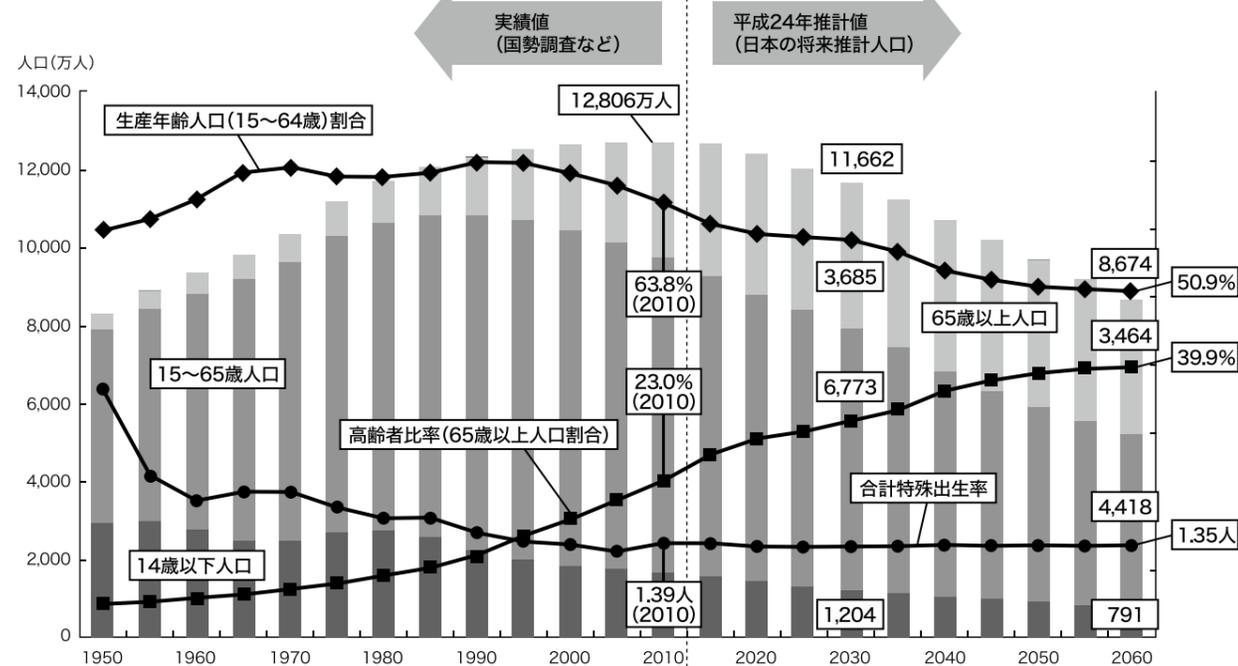
1990年～2010年：国勢調査・2020年～：国立社会保障・人口問題研究所

たい」と思える環境があるかどうか。安心して暮らせることは言うまでもなく、働ける場所、住める場所がなくてはならない。そうした都市基盤や生活環境、保健や福祉、医療や教育など、すべての分野で「安心・安全」な環境が整っていることが定住に結び付く要因となる。

市はこうした現状を克服し、「活力ある庄原市」を築くために、「地域産業」暮らしの安心」にぎわいと活力」を柱とする「庄原いちばんづくり」に取り組む。目指すは定住環境の向上である。

## 日本の人口の推移

日本の人口は近年横ばいであり、人口減少局面を迎えている。平成24年（2012年）には総人口が9000万人を割り込み、高齢化は40%近い水準になると推計されている。



（出所）総務省「国勢調査」および「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）：出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）厚生労働省「人口動態統計」

## 特集

I would like to live in Shobara all the time.

# ずっと庄原で暮らしたいから

## ～庄原に住むという選択～

庄原市の人口が減り続けています。今の姿は、50年先の日本を映し出していると言われ、一向にやまない少子化・高齢化の波は、ここに住む私たちを大いに不安にさせています。

しかし、そんな中であって、庄原市を選んで住む人も多くいます。庄原市に住み続ける人がいます。庄原市に帰ってくる人がいます。そこには確かな理由があります。

今月は、定住について考えてみたいと思います。



# 庄原を選んだ「理由」

「庄原が好き」、「庄原」が好き。そんな気持ちをストレートに表現する人たちがいる。庄原を選び、庄原を舞台に活躍する人たちのレポートする。

## 庄原びと SHOBARA PEOPLE その1

### 「この地域ならではの温かさに感動した 比和自治振興区の事務局員として 地域振興にかかわる」

● **比和 美枝さん** (34歳・比和町)  
家族構成 夫強次さん6歳と4歳の男の子



事務局員として働く美枝さん

**岡** 山県玉野市出身の美枝さんが結婚を機に庄原市へ移住したのが平成18年6月のこと。夫の強次さんは比和町出身。OJとして岡山市で働いていた美枝さんは、同じ職場にいた本市出身の人から「すごい田舎よ」と聞かされていた。「実際に衝撃を受けた」と当時を振り返る。最初は東本町でアパート住まいだったが、夫の仕事の都合もあり一昨年11月に比和に移住した。

不安ばかりだったが、間もなく比和自治振興区の事務局員募集を知り、周囲の勧めもあって真っ先に応募した。事務局員に採用されたことで多くの人を知り、声をかけられることが増えた。「とにかく不安でしたが、皆さん温かくて、布団を干して雨が降ってきたら『雨が降り始めたよ』と声をかけてくださるし、子どもたちを孫のようにかわいがってくださいます。手助けしてもらえ、気の合う人もいて、毎日楽しく過ごせています」と笑顔で語る。

今の仕事に就いて見えてきたことがある。「最初は『何でそんなことまで私の行動を知ってるの?』というところがあり、少し抵抗がありました。実はそれが高齢者の方の見守りなどにつながっているんですね。この地域ならではの温かさであり、それが安心につながっているんだと納得しました。今では比和に住んで本当に良かったと思っています。この町が大好きです」とすっかり地域に魅せられている。

## 庄原びと SHOBARA PEOPLE その2

### 子どもを自然の中で思い切り遊ばせたい 実家のそばに家を立てると決めた

● **比和 信吾さん** (28歳・悠吾くん10カ月)

**比** 和 中学校の同級生だった信吾さんと愛さんは、平成22年に結婚。三城市で2年半暮らしたアパートから、実家のある比和にUターンする準備を進めている。

信吾さんが比和に帰ると決めたのは、父親がもらしたひと言だった。信吾さんは3人兄妹の末っ子。誰も帰りそうにない雰囲気を感じていた父親が、あるとき酒に酔った勢いでこうつぶやいたと言う。「2度と言わんけど、今だけ言うけど、帰って来てほしい」。正直、親の思いを聞いたのが大きかった。普段は『おまえの好きにしたらいい』という感じを出しつつ、ほろつと言われましたから。それが頭の片隅にいつもあったと信吾さん。色々検討した中で、土地の関係が整ったことや消費税増税の動向を見据えた今回のタイミングで、比和に帰ると決意。



すム待見んか完 接一心をさ末にみ 隣ホを顔岡月未にみ にイ成笑平。8月未見込 家ママ完にる家。9月成 実るのちせ一ら成

その点も安心していきます。祖父母もまだ元気ですし、自分たちが帰り一緒にいれば刺激にもなるのでは」と笑顔で語る。「川で魚を捕るのが好きなので、子どもと一緒にいたり、花火をしたり、今から楽しみ。もちろん少しずつ農業も手伝っていきますよ」と夢を膨らませる平岡さん一家。小さな集落に新たな風が吹き込むのもうすぐそこだ。

移住者が住宅を新築・購入・改修する際に、新築・購入は費用の10% (上限100万円)、改修は費用の20% (上限50万円) を補助。購入と改修は併用可。子育て世帯には最大で10万円を加算。実家へのUターンを想定し、改修は2親等以内の持ち家でも対象にできる。 岡 自治振興課 ☎0824-73-1257

庄原市転入定住者 住宅取得および 改修補助金

## 庄原びと SHOBARA PEOPLE その3

### 4人の子どもの大学に行かせてやりたい トマト栽培に取り組み

● **藤原 友樹さん** (30歳・高野町)  
家族構成 妻理恵さん 1女3男

**三** 次の工務店で大工として働いていた友樹さんは昨年春、実家の転作田を活用し、トマト栽培を始めた。「4人の子どもの全員大学に行かせてやりたい。だけど大工だけでは難しいという思いがあった」ときっかけを話す。もともと転作田は、祖父が牧草や飼料用米を作っていたが、もともと土地を有効活用したいと栽培品目を検討していたところ、参加した地元青年会の会合でトマト栽培を勧められた。青年会のメンバーは20〜40代までの若い世代が多く、トマトを栽培している先輩も多くいることから、トマト栽培を決意。家族の後押しも決めた手になった。

「やるからには絶対に成功させたい」と、市の助成制度を活用して雨よけハウス10棟を整備し、約6700本の苗を定植。未経験でいきなり10棟から始めることに、「さすがに心配された」と苦笑いを浮かべる。しかし、「何とかなる」と持ち前のポジティブさと、ひた向きの努力で周囲を驚かせた。1年間乗り切れたのは、「近くにメンバーがいることが何より心強かった。



集出荷場での作業の様子

## 庄原びと SHOBARA PEOPLE その4

### 生産管理を中心的に担い 大佐村を大きくするのが夢 農事組合法人大佐村に正職員として従事

● **鹿川 正悟さん** (30歳・西城町)  
家族構成 妻晴美さん 4歳と2歳の男の子

**愛** 媛県大洲市出身の正悟さんは、西城町出身の晴美さんと出会い5年前に結婚。これを機に晴美さんの実家のある西城町に婿養子として移り住んだ。移住後は三次や庄原市内の民間会社に勤務していたが、昨年の秋、職員を求めている農事組合法人大佐村から声をかけられたことから、少しずつ作業を手伝い始めた。

(農)大佐村は昨年11月に雨よけハウスを8棟整備し、ネギの栽培に着手。今年4月から本格的に生産出荷を始めた。正悟さんは正職員としてハウスや集出荷場の生産管理を任せられ、プレッシャーを感じながらもメンバーとともに充実した日々を送っている。



「ヒバゴンネギは味がいいと市場からも評価をいただいています。ネギ作りは気候に左右されるので難しいですが、いいネギができることやほりうれいすね。」

知らないことが多く不安が大きかったという正悟さんだが「地域の皆さんが優しく、いつも気にかけていただいているので、今はとても居心地が良いです。地域からもよく来てくれたと言われ喜びを感じます」と笑顔のそでさせる。「今は、皆さん

庄原びと SHOBARA PEOPLE その5

子育てしながらママが楽しめるイベントをつくりたい  
庄原市小児医療を考えるひだまりの会の代表として活躍する

● 森岡早苗さん(33歳・川手町) 家族構成 夫伸也さん、5歳と2歳の男の子、両親、祖母

**森林** 岡さん夫妻が庄原に移住したのは4年半ほど前。リーマンショックが起こり夫伸也さんの仕事にも影響が及んでいた頃だった。結婚当初は三次市に住んでいたが、このとき長男の恭平くんはまだ5カ月。「この状態が続くと怖い。すぐに働ける状況でもない。それならいざ帰る夫の実家に甘えさせてもらおう」と、夫の実家で暮らし始めた。「ちょうどその頃から長男に手がかかることが増えてきて、育児ストレスでつらい状態になった」と早苗さん。しかし、市が設置する子育て

支援センターの存在を知り、状況が変わった。「一人目の子育てはとにかく不安でしたが、気の合う人が見つかり、会話を通して救いにもなり励みにもなりました」と打ち明ける。子育て支援センターでは、似た境遇のお母さんが多く友人も増え、子育てに関するいろんな話を聞く機会も増えた。そうした中、本市の小児医療が危ない実態を知り、「何とかしたい」という子育て中のお母さんが集まり平成21年10月、「小児医療を考えるひだまりの会」を発足。3人いる代表の中の1人になった。多くの市民に小児科の現状を知ってもらい、勤務医師の負担が少しでも軽減するよう、「病気の知識を得てもらい、上手に受診してもらいたい」と小さな子どもを持つお母さん向けに学習会を開催している。



篤史くん(2歳)に絵本を読み聞かせる早苗さん

また、子どもを遊ばせながら母親が楽しめる「庄原空市」という催しを、有志の協力を得て開催。予想以上の来場者になり手応えをつかんだ。「子育て



小児医療学習会



進行を務める森岡さん

てを楽しめている自分がいてできたこと。それは子育て支援センターのおかげです。そこでめぐり合った友人のおかげです。今秋第2回目の空市を開催する予定。これからも子育てライフを楽しみたい。

庄原びと SHOBARA PEOPLE その6

いろいろな人が集える場所を作りたい  
旧小学校を改修しカフェを営む

● 手島亜希さん(38歳・総領町) 家族構成 夫秀作さん、7歳の男の子と3歳の女の子

**総領** 領町黒目で「まなびやCafe」を営んでいる手島亜希さん。元黒目小学校を改修した手作りのカフェは、木造建築の特徴をうまく生かし、訪れた人に安らぎの時間と空間を提供している。

岡山県倉敷市出身の亜希さんは大阪市出身の秀作さんと大阪で知り合い結婚。芸術家の2人は、結婚前に作品を制作できる場所を探していたという。秀作さんが元黒目小学校を気に入り購入。亜希さんも「ここだったら何か楽しめそう」と魅力を感じた。平成11年に秀作さ

んが住み始め、翌年に亜希さんも移住。住居とアトリエを兼ねたこの場所で、改修を続けながら作品を作り、大阪で個展を開くなどしていた。しかし、ある頃から絵を描くよりも、野菜を作る、草刈りするといった暮らしそのものが楽しくなってきた。

元小学校ということで、ゆかりの人が訪れることも多かったこの場所をもう少し気軽に集まれる場所にしたと、2人目の子どもが保育所に行き始めたのを機にカフェをオープン。「これで生計を立てているわけではないので週3日だけ営業し、土日は家族の時間をできるだけ持ちたい」と、自分に合ったペースで営業を続けている。空いた時間には、子育て支援センターで仲良くなったメンバーで楽しめることを企画するなど、交流の輪も広がっている。

総領に移住して13年。「移動手段は車しかなく何をすることも遠いけど、豊かな自然や色々な生き物に囲まれ、いつも新たな発見があり楽しい」と、生活に不便さを感じながらも、それ以上の魅力を感じている。

「将来は、特技を持っている人がそれを生かせる教室などを開き、みんなが集える場所になりたい。絵画教室もできたらいいですね」と笑顔で語る亜希さん。その表情は晴れやかだ。



校舎を生かしたカフェ。ゆったりとした至福の時間を過ごせる。水曜日がランチとカフェの日、木・金曜日がカフェの日。12~2月は冬季休業。



【庄原空市】

森岡早苗さん、手島亜希さんら5人の母親らが中心に開催する催し。子どもが遊べるコーナーが設けられ、母親が買い物やエステ体験などを楽しむことができるとあって、多くの人にぎわった。



【子育て支援センター】

子育て家庭や地域の皆さんが気軽に集い交流できる場で、子育てに関する相談・子育て情報の提供・子育て家庭の友だち作りや交流の場の提供、子育てサークルの活動支援などを行っている。

☎ 女性児童課 ☎0824-73-0051



空き家を活用し定住と地域活性化につなげたい  
地域をあげて空き家対策に取り組み

● 口和自治振興区

**年**々増加している空き家は、防災・防犯上良くない影響を及ぼし、景観を損ねるといった問題点が指摘されている。口和自治振興区では、こうした空き家を何とかしたいと、いち早く空き家対策に取り組んできた。

口和地域には約800戸の家がある。だがそれ以外に100戸余りの空き家が点在しているという。「増えている空き家を活用し、定住に結びつけることができなから、そんな思いから、同振興区では、空き家対策の先進的な取り組みをしている島根県江津市を何度も訪れ、空き家の取り扱いのノウハウを学び、振興区活動に取り入れていく。昨年からは、地域マネージャーを空き家対策の担当者として位置付け、空き家情報の確認・収集、市の空き家バンクと連携した定住希望者の相談やサポートなどに取り組み。その成果が少しずつ形として見えてきた。2年間で8世帯が口和に移住し、受け入れた地域に動きが出てきたという。

区長の山岡芳晴さんは「地域マネージャーがかかわったものだけでなく、地域が世話をして定住に結びついていることが大きい。振興区の活動が自治会へも伝わり、住民も関心が高いのだと思う」と手ごたえを口にする。

さらに次の展開として、高齢者世帯の

身内の方で町外に出ている方に、一口5000円で応援登録してもらおう制度を導入。この登録情報によって「空き家になった際に対応しやすくなる」ことが期待される。また、社会福祉協議会と一緒に進んでいる見守りネットワークと連携し情報を共有することで、空き家になる可能性があるところを早めに登録してもらおうような取り組みも検討している。

しかし、空き家を取り扱うには、法律的な部分や専門性の不足から、振興区だけで取り組むには限界も感じている。橋川豊事務局長はこう語る。「やはり行



空き家情報を発信している口和自治振興区のホームページ

移住者を受け入れ  
地域が活性化

口和自治振興区が発信する情報を基に昨年4月、福島県いわき市から福元紀生さん奈津さん夫妻が移住した。福元さん夫妻は、空き家と使われなくなっていた牛舎を借り、ジャージー牛を放牧しながら、自家製チーズを製造・販売したりして生活している。乳しぼり体験やチーズ作り体験なども開催し、交流が生まれ、地域に新しい風が吹き込んでいる。



移住者の受け入れは  
地域にとって大きな喜びに



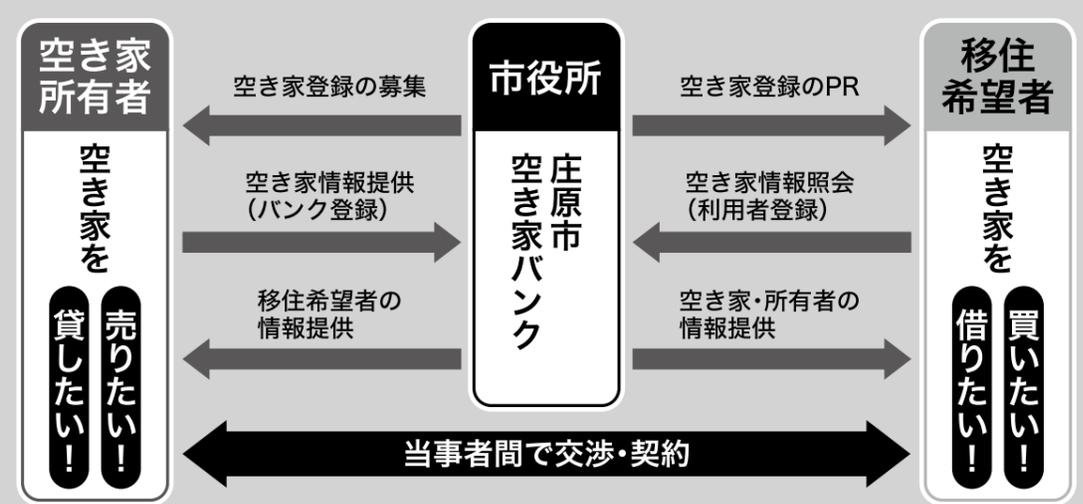
湯木自治会 会長  
おおすぎ こうじ  
大杉幸司 さん

若者が少ない湯木に若い人が来てくれると聞き喜びました。原発事故という悲しい状況があつての移住ではありませんが、地域の人もとても喜び、牛舎の屋根などの修理や放牧地の草刈りなど、さまざま面で協力しています。空き家を貸した方も喜ばれ、特に牛舎の貸主の方は1人暮らしということもあり、毎日家の前で福元さんと言葉を交わすことが楽しみだと言われています。また、そのことが見守りにもつながっています。

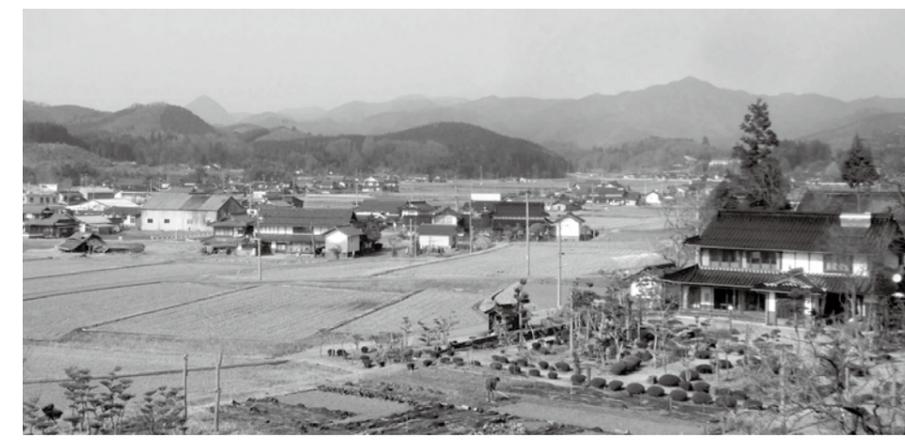


空き家バンクの仕組み

空き家バンクに登録するには物件の面積などの情報や、田畑などの付帯物件の情報、所有権の確認などが必要になります。まずは自治振興課または各支所企画調整室にご相談ください。



市内で増加している空き家を有効活用し、移住希望者の住まい確保を支援する制度が「空き家バンク」。利用には登録が必要。賃貸借・売買共に情報が有り、ホームページでも公開中。



政の力が必要。もっと一緒に取組める体制を作る必要がある。今こそ協働のまちづくりが求められている。

老朽化する前に  
空き家をどうするか  
家族で検討を



口和自治振興区 区長  
やまおか よしはる  
山岡芳晴 さん

現在、手を加えれば住める空き家が100戸余りあり、便利のいい中心部に増えてきています。空き家になっている家は、育てた子どもが就学・就職などで町外へ出て、そのまま帰ってこない場合が多く、その後、親御さんが亡くなり空き家になるケースが多いです。そうした空き家を登録してもらえればいいのですが、益などに帰るといふ理由で、登録していただけないのが現状です。建物の状態が悪くなれば、買手や借り手がなくなるので、状態の良いうちに検討いただくことが必要です。ただ、少しずつですが空き家を手放したいという人も出てきていますので、空き家の3割減を目標に今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。



### 帰ってきたいと思えるまちにしたい ボランティア活動を通じて東城の良さを再認識 ●東城高等学校「東城応援隊」

**東** 城高等学校では2年前、長年続けてきた様々なボランティア活動を組織化し、「東城応援隊」を結成した。町内の清掃活動のほか、春や秋に開催される市街地イベントに町の案内役としてかわるなど積極的に活動。活動の度に、全校生徒からボランティア希望者を募り、毎回30人程度が参加する。最初はあまり乗り気でなかった生徒も、地域の人に喜ばれることで、やりがいを感じているという。

「東城まちなみ春まつり」や「お通り」では通りのポイントに立ち、観光客に手作りの案内マップを手渡す。質問に対応できるように、生徒自らが想定問題集などを作成し、事前学習も欠かさない。そんな生徒の頑張る姿を地域の方は温かく見守り、いつも励ましの声をかけている。

生徒たちは「自分たちの町を町外の方にアピールできる」「自分自身の成長につながっている」と話し、活動前に比べて一回り大きくなっていく自分を感じている様子。「この活動を続けることで、町を知り、人を知ることができた。またいつか帰ってきたい」という言葉が頼もしく聞こえる。

この活動を身近で見えてきた株式会社えびすの田辺裕二さんは「応援隊の活動が地域に根ざした活動になるようサポートしながら一緒に取り組んでいる。生徒た



先輩の思いを受け継いだ3年生がインタビューに応じてくれた。



帝釈峡ウォークで初めての活動。参加者へ給水のお手伝い。

ちの活動を通じて地域の人との交流が生まれ、まちのにぎわいにつながっている」と話す。「卒業した生徒たちが、また地域に帰ってきたいと思える関係づくり、地域づくりにつながれば」と期待している。



### 庄原暮らしを応援していきたい 田舎暮らし応援隊としてI・Uターン者を支援 ●有限会社佐伯建設専務 佐伯 真史さん(東城町)



**8** 年前、西城町の「やませみ」を経営している、大阪からIターンした田中博之さんの家を改装したことをきっかけに、ともに田舎暮らしをしたい方の応援をしていこうと「田舎暮らし応援隊」を立ち上げた佐伯さん。I・Uターンした方が手作りした作品を展示、販売、交流することを目的に、喫茶店に併設した展示スペース「ぎやらりー牛小屋」を設けて運営してきた。

佐伯さんは次なる展開として「西城や東城の商店街に空き店舗が増え、空き家も増えている。何とか昔のような活気を取り戻したい」と、周



I・Uターン者のためのギャラリー牛小屋



辺の里山や空き家を上手く活用しながら、農業とも連携する新たな取り組みを検討している。

「田舎の人(自分たち)だけが考えていても行き詰まる。I・Uターン者、特に若者の新しい風を入れれば、きっと違った視点から新しいアイデアが生まれるのでは」と投げかける。「人がいないとすべてが成り立たない。田舎に来てもらえ、住んでみたいと思わせるようなまちづくりを行政、市民、企業などが一緒に取り組む必要がある。そのためには私たちも次なる仕掛けを考えていきたい」。その言葉に、地元を愛する強い気持ちがあふれている。

## 課長に聞く

定住を重点プロジェクトに位置付ける庄原市。人口減少を食い止める特効薬がない中、どういった方向で定住を進めていくのか、自治振興課の岡野茂課長に聞いた。

自治振興課  
おかの しげる  
岡野 茂 課長



ー人口減少の問題点はどこにあるのでしょうか？

現在は、市内各地域でそれぞれコミュニティがある中で、安心して暮らせているというのがありますが、人が減ることによって支える側の人が減り、コミュニティや生産、地域活動ができなくなるケースが出現しています。これが進むと、そうした営みが維持できなくなり、維持するには人が住む以外にありません。特に若い世代が地域に住んでもらうことが必要です。

ー昨年からはまちづくり定住推進係ができました。

私たちは移住希望者に向けて施策をPRしたり、相談に乗ったりする窓口として業務を進めています。定住に結びつけるには、総合的な施策を打つ必要があります。それは、子育てであり、医療であり、さまざまな分野でかかわってきます。ですから、子育てや医療、福祉を総合的に見直し、全市的に取り組んでいく必要があります。

ー見直した定住プロジェクトでは、どこに力点を置いて取り組もうとしていますか？

これまで「待つ」とするより「庄原定住プロジェ

ー独身者が増えています。対策はあるのでしょうか？

本市でも婚活イベントを実施していますが、なかなか成果に結びついておらず悩ましい状況があります。地域でお世話かいしてもらえ、期待していただける方がいますが、最近ではプライバシーのこともあり難しい問題でもあります。色々な価値観もあり、簡単にはいかない現状がありますが、出会いの場は引き続き作っていききたいと思っています。



パンフレットの表紙

ー空き家対策に取り組む口和自治振興区などの協働は？

口和の取り組みはすばらしく、協働すべき取り組みです。同様の取り組みが他地域にも広がってほしいという思いがありますが、その前提として市民も行政も同じ思いを共有することが何より必要です。市外に出ている自分の息子や娘に「庄原で生活したらどうか」と言えるのかどうか。庄原に住むということを選択肢に入れてもらうために、行政としてもっと情報を提供していく必要があると思っています。

定住パンフレットが新しくなります。多くの定住者の声を掲載。8月中旬以降に配布する予定です。詳しくは自治振興課までお問い合わせください。



毎年8月6日に行われる山内原爆犠牲者慰霊式典



千羽鶴を折る山内小の6年生

唯一の被爆国の日本に住む私たちは、戦後「反核平和」「戦争反対」と叫び続けてきました。しかし、世界中では今もなお多くの紛争が起き、多くの人が血を流し、何の罪のない子どもまでもが多くの犠牲者になっています。世界には核弾頭が

1万7千発以上あると言われ、核開発を進める国は後を絶ちません。それは遠い国での話ではなく、いつ私たちに降りかかってくるか分からないのです。それが現実起こったらどうなるか。今の生活など一瞬で吹き飛んでしまうことでしょうか。そのことを私たちはしっかりと受け止めておく必要があるのです。

終戦から今年で68年。戦争・被爆体験者のほとんどが70歳を超え、その実相を知る人が急激に減っています。壮絶な体験を後世に伝え続けていくために、今できることは何か、山内地区の取り組みから考えてみます。

# 恒久平和を願い 戦争・被爆体験を後世に

## 地域で育む命の尊さ・思いやる心

広島への原爆投下直後、山内地区にも多くの被爆者が輸送されてきました。用意された臨時病棟には274人の被爆者が収容され、88人が亡くなっています。その犠牲者を悼み、平和を祈念する「山内原爆犠牲者慰霊式典」を毎年8月6日に行っています。この式典には、遺族や地域住民をはじめ、山内小学校の児童も参列。地域が一体となつて被爆の実相の継承に取り組んでいます。山内小学校では児童会が中心となり、慰霊式典に向けた校内活動を行っています。全校児童が協力して千羽鶴を作成。児童は折り紙一枚一枚に、平和への願いを込めたメッセージを書き込

み、一つ一つ丁寧に折っていききました。また、被爆体験記「葛城」(山内地区原爆被害者の会発行)を使った学習なども行っています。「過去何があったかを知ることとはとても大事。その上で平和を築くためには、まずは自分たちの家族や友だちを大事にすること。命の尊さを感じてくれれば」と山下博教諭。兼丸裕子校長は「山内地域は住民の方が日ごろからさまざまな形で学校にかかわってくださっている。慰霊祭を含め地域活動も活発なので、日々のかかわりを通して、子どもたちも人思いやる心が自然と身についている」と話しています。「戦争のない平和な世の中になつてほしい」と願う子どもたちの心は、こうした環境によって育まれています。

### 平成25年度 庄原市戦没者追悼式ならびに平和祈念式典

本市の戦没者に哀悼の意を表すとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和を祈念するため、庄原市戦没者追悼式ならびに平和祈念式典を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお願いします。

- とき 8月21日(水)10時～
- ところ 庄原市民会館

※当日は要約筆記による案内に加え、インターネットでの中継も行いますので、各学校、自治振興センターなどでもご覧になれます。※各支所からの送迎バスをご用意しています。利用を希望する場合は、8月15日(木)までに各支所に申し込んでください。(定員に限りがありますので、ご希望に添えない場合はご了承ください。)

問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係  
☎0824-73-1210  
または各支所市民生活室

### 集う場所・つながる場所

定住を進めるには、定住した方の声は外せません。

何より市民の皆さんの声は欠かせません。

皆さんの思いや力を出し合い、誰もが「庄原大好き」と思えるふるさとを一緒につくりましょう。

## しょうばら愛サミット 開催!

昨年度、本市にIUターンした方を対象に、庄原の魅力などを話し合う「しょうばら愛サミット」を開催しました。

同じ市内で暮らしていても広い庄原市内では出会うことのない人同士の出会い、つながりの場となりました。

このつながりをさらに広げ、庄原に暮らす人や団体だからこそできる、庄原らしい、庄原でしかできない関係づくり、庄原の魅力アップにつなげていきたいと考えています。

本年度は4回程度開催する予定です。

私にもできるまちづくりの第一歩。ぜひ、ご参加ください。



本年度のテーマは

庄原のいちばんづくり  
「暮らしの安心」のいちばん・「にぎわいと活力」のいちばん・  
「地域産業」のいちばん

- とき 8月31日(土)13時～16時
- ところ 庄原市ふれあいセンター 中会議室
- テーマ 「暮らしの安心」のいちばん  
～子どもが安心して暮らせる環境づくり～
  - 昔はこんなこともやったよな
  - こんなものがあつたらいいのに
  - 私ならこんなことができますよなど、私にできることを話してつながる場です。個人・団体・企業からの参加もお待ちしております!

### しょうばら愛サミット 参加者アンケート

※今回のテーマは、昨年度の参加者の中からメールによるアンケートを行い、今回のテーマを決めました。

「暮らしの安心」といえば?

- 1位 子どもが安心して暮らせる環境づくり
- 2位 地域医療について

### 市民活動団体登録制度始めます!

市民の皆さんのチカラを生かしたまちづくりを進めるため、市内で活動している市民活動団体の情報を収集し、広く公開していきます。

- ★これから市民活動を始めようとする方のきっかけに!
- ★市民活動団体の組織強化に!
- ★団体間の連携、情報交流機会に!

#### ■ 団体登録を行うと...

- ◎登録された情報を市ホームページなどに掲載し、広く公開します。
  - ◎登録団体の活動促進に役立つ情報を提供します。
  - ◎市民や公的機関からの問い合わせがあれば、登録事項を提供します。
  - ◎登録団体が主催する行事などを市の施設を利用して掲示します。
- ※活動に支障をきたす場合はこの限りではありません。団体登録には要件があります。お問い合わせください。

問い合わせ 自治振興課まちづくり定住推進係 ☎0824-73-1257

### あとがき

人口減は将来にわたる本市最大の課題です。「ここに住み、ここで育ち、ここに帰ってくる場所をしっかり確保し、維持し、つくっておくことが何より大事」とは、山岡区長の言葉。私たち大人が子や孫の代に郷土を残す責任があります。人が地域を作ります。そのためには「庄原が好き」という住民がもっとももっと増えること。ふるさとをしっかりと形に残していくためには、皆さんの声が必要で、ご意見ご感想をお待ちしています。

# 市政懇談会 を開催します

情報政策課広報聴係 TEL0824-73-1159

市は、市民の皆さんと市長が直接対話することにより、市政への理解を深めていただくとともに、市民の皆さんの意向を尊重したまちづくりを推進することを目的として、市政懇談会を実施します。

## ●懇談テーマ

### ①共通テーマ 「定住促進について」

山本耕三市長が所信表明で掲げた「庄原いちばんづくり」の3つの柱のうち、「にぎわいと活力」の取り組みの中の「定住促進について」を説明し意見交換を行います。

### ②地域テーマ

各地域の自治振興区などで地域テーマを設定していただき意見交換を行います。

## ●開催日程

- 庄原地域 9月9日(月) 19時～  
庄原市ふれあいセンター  
地域テーマ：自主防災推進上の地域課題解決について
- 西城地域 9月6日(金) 19時～  
ウィル西城  
地域テーマ：未定
- 東城地域 9月3日(火) 19時～  
市役所東城支所  
地域テーマ：森林を活かしたまちづくり
- 口和地域 8月31日(土) 19時～  
口和自治振興センター  
地域テーマ：暮らしの安心(高齢者福祉)
- 高野地域 8月27日(火) 19時～  
上高自治振興センター  
地域テーマ：定住促進について
- 比和地域 8月26日(月) 19時30分～  
比和自治振興センター  
地域テーマ：定住促進について
- 総領地域 9月4日(水) 19時～  
総領自治振興センター  
地域テーマ：未定

## ●出席者

自治振興区の役員など(地域内の自治振興区で決定)、そのほか一般の参加も可能

## ●懇談会での発言について

懇談会での発言は、テーマに沿った内容に限ります。その他の要望は、事前に各地域の自治振興区でとりまとめ、市から文書で回答しますので、会場での懇談は行いません。

## ◆登録方法◆

～プラモニ登録までの3ステップ!～

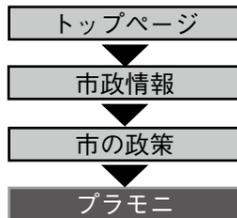
### 1. 申請

次の①②のいずれかの方法により申請してください。

①パソコンまたは携帯電話(スマートフォン含む)で下記アドレスから登録区分を確認した後、必要事項を入力し送信

<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/government/seisaku/post-272.html>

次のQRコードを読み取って市ホームページからも次の順にアクセスして行えます。



②企画課または各支所企画調整室で申請書を入力し、必要事項を記入して提出(郵送可)

### 2. ID通知

申請書に記載された電子メールアドレスにIDを送信します。

### 3. パスワード通知

申請書に記載された住所に郵送でパスワードを通知し、登録が完了します。(申請から、おおむね2週間で登録が完了)



皆さんの声を聞かせてください

# 「プラモニ」 募集します



## まちづくりプランナー・モニター事業開始

企画課政策推進係 ☎0824-73-1112

市は「市民が主役のまちづくり」を推進するため、インターネットを活用した「まちづくりプランナー・モニター事業」を始めます。

この事業は、市民の皆さんにプランナー・モニター

(プラモニ)として登録してもらい、インターネットを通じて、本市が抱える課題の解決策の提案や市の事業に対する評価などのご意見をいただき、市政運営の参考にしようとするものです。

### プランナー

登録者は、市が設定した行政課題に対し、その課題を解決する事業・方法などについて、「市がすべきこと、市でなければできないこと」の視点で提案します。

### モニター

登録者は、市の施策や事業について、市が設定した問に回答するアンケート形式で評価します。その他、一般アンケートへの回答もお願いする予定です。

### ◆応募資格◆

市内に在住・勤務または通学している15歳以上の方で、インターネットと電子メール(携帯電話を含む)が使用できる方。また、団体や企業で登録することもできます(市内限定)。

### ◆募集期間◆

随時受け付け

### ◆注意事項◆

- 寄せられた提案に対する回答や集計結果は、市のホームページに掲載します。
- 要望や質問、苦情などをご遠慮ください。
- 登録された個人情報、この事業以外で使用することはありません。
- 使用機器の経費や接続に要する通信費などは登録者の負担となりますので、ご了承ください。
- 携帯電話でメール受信拒否機能を設定している場合は、「@city.shobara.hiroshima.jp」と「@e-tetsuzuki99.com」からのメールを受信できるように設定してください。設定方法は、ご契約の携帯電話会社にお問い合わせください。

# 庄原市行政経営改革大綱

## を策定します

企画課政策推進係 TEL 0824・73・1112

### 行政経営改革大綱とは？

行政改革は通常、市役所の組織や職員数、事務・事業の見直しを行い、「経費を削減すること」を主な目的としています。

本市では、従来の行政改革に「経営」の視点を取り入れて「行政経営改革」とし、「同じサービスであれば経費を削減」「同じ経費であればサービスを向上」という基本方針のもと、市民満足度の向上を図りつつ「より効率的・効果的な自治体経営」を進めることを主な目的としています。

行政経営改革大綱は、こうした目的の達成に向けて取り組むべき課題や実施時期、方向性などを整理した基本計画です。

### これまでの取り組みは？

市は最大の行政改革ともいえるべき市町村合併を行うとともに、平成17年度に「庄原市行政経営改革大綱」を策定して、職員数の適正化(削減)や施設管理の民間委託、まちづくり基本条例の制定などに取り組んできました。

### なぜ、第2期行政経営改革大綱が必要なの？

今後、市の役割と責任がますます大きくなることに加えて、住民福祉を支える経費や施設・道路の維持費などの負担増加が予測されます。こうした状況に対応するためには、

職員の人材育成や効率的な組織、さらには「最少の経費で最大の効果を上げる」ことを前提とした自治体経営、将来を見据えた財政運営が必要となります。

### 行政経営改革審議会を設置しました

大綱の策定にあたり、市民の皆さんから意見を聴くため「行政経営改革審議会」を設置しました。審議会は、学識経験者や各種団体からの推薦者、市民代表の方など11人で構成し、6月12日に第1回の会議を開催しました。

この会議は傍聴ができるほか、資料や議事録を市のホームページに掲載しています。次回は、10月17日(木)の開催を予定しています。



審議会の会議の様子



木山耕三市長から野原建一会長(左)へ諮問書を交付

### 市民アンケートを実施しました。

7月1日から17日まで、市民3000人を対象に行政経営改革に関するアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。

# 観覧募集



HEART NET TV

## ハートネットTV

### 「公開すこやか長寿」

公開録画

NHK広島放送局と庄原市などでは、「ハートネットTV 公開すこやか長寿」の公開録画を行います。  
第1部は、地元のご長寿の方々と「ココロからダンス」で体を動かしながら、客席の皆さんも一緒に楽しめる収録を行います。第2部では、テレビ・ラジオでおなじみのゲストが、「自身の経験などについて講演します。観覧をご希望の方は、次の要領でお申し込みください。」

#### 主催

NHK広島放送局、NHK厚生文化事業団、庄原市

#### とき

10月26日(土)  
開場/13時 開演/13時30分  
終演予定/16時

#### ところ

庄原市民会館  
(庄原市西本町二丁目17・15)

#### 内容

《第1部》「ハートネットTV 公開すこやか長寿」公開録画  
【ゲスト】 未定  
(決定次第、NHKのホームページなどでお知らせします)  
【ダンスナビゲーター】  
南 流石(振付師)

#### 【司会】 塚原泰介アナウンサー

《第2部》「第1部ゲストによる講演会」

#### 観覧申し込み

入場は無料ですが、入場整理券(1枚で2人入場可)が必要です。  
郵便往復はがきに必要事項を明記してお申し込みください。

#### 【記入事項】

- 《往信用裏面》  
(1) 郵便番号 (2) 住所 (3) 名前  
(4) 電話番号  
《返信用表面》  
(1) 郵便番号 (2) 住所 (3) 名前

#### 【宛て先】

〒727・0013  
庄原市西本町二丁目17・15  
庄原市民会館「ハートネットTV」係  
【締め切り】  
10月3日(木)必着

#### 放送予定

11月21日(木) 20時~20時29分  
【Eテレ・全国放送】  
11月28日(木) 13時5分~13時34分  
【Eテレ・全国放送(再放送)】  
※放送予定は変更になる場合があります。

#### 問い合わせ

庄原市民会館  
TEL 0824・72・4242  
(8時30分~17時15分)  
NHK広島放送局  
TEL 082・504・5218  
(9時30分~18時※土日祝除く)

# 児童扶養手当 特別児童扶養手当

### 児童扶養手当とは?

離婚や死別などの理由で、母親または父親のみで子どもを養育している「ひとり親家庭」に対して支給される手当です。ただし、遺族年金など公的年金を受給されている方は除きます。(所得制限があります。)

※児童の対象年齢は、18歳に達した年の年度末まで。ただし、児童に中度以上の障害がある場合は20歳まで。

### 忘れずに現況届の手続きを!

現在、児童扶養手当や特別児童扶養手当を受けている方(所得制限で手当を受けていない方を含む)は、必要書類や印鑑などを持って、次の期間中に女性児童課または各支所市民生活室で手続きを行ってください。

期間内に手続きをしないと、8月分以降の手当が差し止められます。また、この手続きを2年間しないと受給権がなくなりますので、ご注意ください。

### 特別児童扶養手当とは?

精神または身体に障害のある20歳未満の児童を養育している方に支給される手当です。(所得制限があります。)

これらに該当すると思われる方は、女性児童課または各支所市民生活室へお問い合わせください。

### 受付期間

○児童扶養手当

8月30日(金)まで

○特別児童扶養手当

8月12日(月)～9月10日(火)

※該当する方へは、別途案内を送付します。

### 申請窓口・問い合わせ

女性児童課児童福祉係

☎0824・73・1192

または各支所市民生活室

### 私にもできる獣害対策



林業振興課林業振興係  
☎0824・73・1124

### 山の田畑の楽しさアップ(その5)

大規模農家の方でも、小さな家庭菜園の方でも、鳥獣害を受けたときの悔しさは一緒ですよ。上手な野菜作りこそ、だれにでもできる鳥獣害対策の真骨頂。

今年も、毎朝目覚めたらすぐに行きたくなるような、「百歳まで楽しめる畑作り」の裏ワザ・小ワザを、どんどん紹介していきます。

### 今月の豆知識

#### その① 土壌消毒

秋野菜の作付け予定部分を平畝にし、たっぷり水をまいた上で、畝にすっぽりと透明のビニールをかぶせます。畝肩を土で押さえ、畝の真ん中辺りも風でビニールが飛ばないように所々に垂木か古い鉄パイプを置いてください。そのまま1カ月くらい放置すると、土の温度がどんどん上がって土中の病原菌や害虫が熱で死滅します。秋野菜を植える時には黒のポリマルチに変えてください。

#### その② ワケギの害虫退治

ワケギは、ネギとタマネギの雑種なので種がなく、種球を植えます。種球にはネギアザミウマやネギコガという厄介な害虫が潜んでいることも多いんです。そこで、家庭菜園向きの消毒方法を。

三段くらい仕切りのある、魚の干物作り用の青い網かごに種球を入れてください。次に底部分の真ん中に5センチほどの穴を開けたてっかい透明のポリ袋を網かごの上からすっぽりかぶせまします。先に開けておいた穴からかごを吊るすためのひもを取り出し、直射日光の当たる軒下に吊り下げて保存すると害虫は全滅します。

#### その③ ニンジンの発芽促進

ニンジンは、水辺に生えるセリの仲間なので、少しくらい水では発芽しません。そこで、平べったい煎餅の空き缶のふたか新聞紙の上に広げて、2時間くらい、カンカン照りの直射日光にさらしてください。硬い殻に細かいひび割れが入って水をよく吸うため発芽率アップ間違いなし!

### 今月の手抜き作業

#### 果菜類の畝間灌水

ナスなどの畝が乾いたら、通路の両端を土のう(肥料袋)に土を入れたものでOK)でせき止め、ホースで水を注ぎます。畝の上部までたっぷり水が染み込んだら、長く溜めておく必要はありません。

住宅・土地統計調査はこんな調査です

住宅・土地統計調査は、「統計法」(国の統計に関する基本的な法律)に基づいた基幹統計調査です。この調査は、全国約350万世帯(庄原市では約3500世帯)を対象とした大規模なものとなります。調査の結果は国や地方公共団体における「住生活基本計画」の成果指標の設定や、耐震や防災を中心とした都市計画の策定などに幅広く利用されます。

調査の対象となった世帯へは、調査員が調査票などを配布し、記入を依頼しますので、その際にはご協力をお願いします。

どんなことが調査され、どんなことがわかるの?

調査するのは、住宅・敷地の広さや所有の関係、居住している世帯に関すること、住まいの設備状況や住環境などです。全国・都道府県・市区町村別に結果が作成されます。調査結果は平成26年夏ごろ公開される予定です。

問い合わせ  
情報政策課情報政策係  
☎0824・73・1113

※詳しくは総務省HPで。 [総務省統計局](#) [検索](#)

## 安心・安全な毎日のために



### 水難事故を予防しよう!

水による事故は、泳ぎに行つて起こるとは限りません。魚釣り、魚捕り、水遊びや歩行中に川へ落ちるなどの事故も多く発生しています。

事故を未然に防ぐためには、次のことを心掛けましょう。

- ・天候の変化に注意(川の上流での大雨など)
- ・増水した川、池には近づかない。
- ・飲酒後は絶対に水に入らない。
- ・水辺にいる子どもから目を離さない。
- ・ライフジャケットを着用する。

もし、溺れた人を発見したら、一人で助けようとせず、周りの人に助けを呼んで、必ず119番通報を!!



### 応急手当を身に付けよう!

もし、あなたのそばで、突然、交通事故や急病による傷病者があつたら...: 心臓や呼吸が止まった人の治療は正に1分1秒を争います。119番通報後、救急車が現場に到着するまでには全国平均で約8分間かかります。傷病者の命を救うためにはその場に居合わせた「あなた」の行動が最も大切です!

講習名	講習内容	時間
上級救命講習	心肺蘇生法、大出血時の止血法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法	8時間
普通救命講習	心肺蘇生法、大出血時の止血法	3時間~
救命入門コース(小中学生対象)	心肺蘇生法のうち、胸骨圧迫とAEDの使用法	1時間30分
救急教室	上記以外の応急手当など	ご相談ください

※各講習とも2年から3年間隔で定期的な再講習をおすすめします。詳しくは最寄りの消防署へお気軽にお問い合わせください。

平成25年度全国統一防火標語  
「消すまでは心の警報 ONのまま」



左から、松浦利幸さん、(株)大和建設取締役部長 藤原由雄さん、梅木弘男さん、田盛彰司さん、三宅建設代表取締役 三宅康文さん、木山耕三市長、小林建設代表取締役 小林茂樹さん

市は、平成24年度の対象工事のうち、基準を超える優秀な工事成績評定点を収めた3工事の施工業者を「優良建設工事施工業者」として認定し、工事を担当した技術者を「優良技術者」として表彰しました。その認定式ならびに表彰式を7月10日、市役所で開催しました。

管財課

市内の3建設会社と3技術者を高く評価  
優良建設工事施工業者認定、優良技術者表彰

この制度は、建設会社の技術力向上を目的に、市が発注する500万円以上の建設工事について、品質や出来栄、安全対策などを総合的に考慮し算出した「工事成績評定点」が82点以上（100点満点）の成績を収めた工事の施工業者と技術者を認定・表彰するもので、平成20年度の制度創設後、初めての認定・表彰となります。

木山耕三市長は「今後も他の業者の見本となり、高い技術力を社会資本の整備や維持管理に役立てていただきたい」と述べ、認定書と表彰状を手渡しました。

●優良認定業者および優良技術者（敬称略）

優良認定業者	対象工事名	優良技術者
小林建設(株) (東本町)	高小用2期地区 農道改良工事	梅木弘男
三宅建設(株) (西城町)	市道塩田小坂線 道路改良工事	田盛彰司
(株)大和建設 (七塚町)	市道上原戸郷線 道路改良工事	松浦利幸

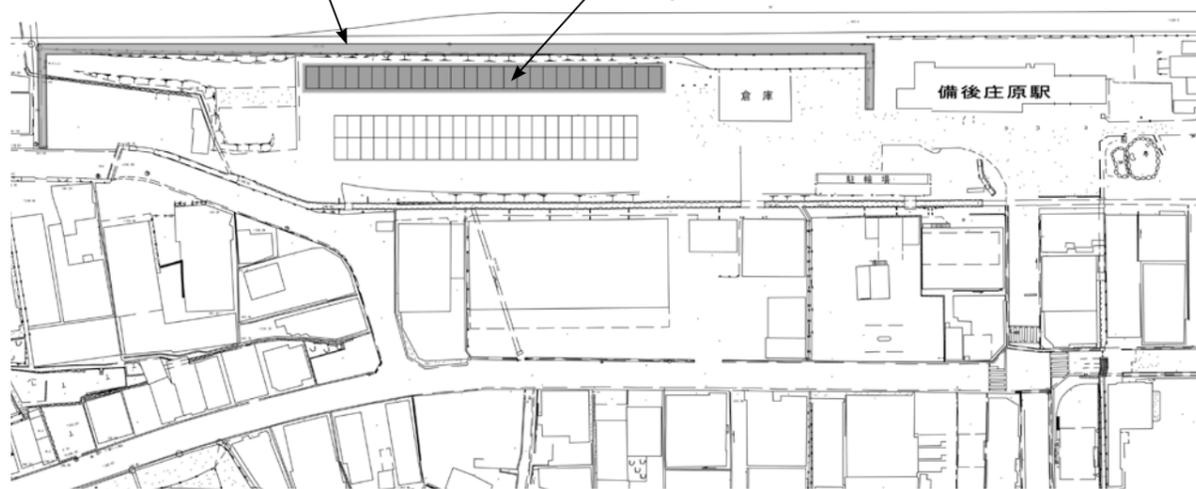
無料駐車スペースが減りました - JR備後庄原駅西側無料駐車場-

都市整備課市街地整備係 ☎0824-73-1173

JR備後庄原駅周辺地区の土地区画整理による道路整備工事に伴い、交通機関利用者のために設置している駅西側の無料駐車場の一部（線路側一列）が、

7月20日から使えなくなりました。利用者の方には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

(本年度工事箇所) → 使用できない部分 (34台)



便潜血検査の  
ススメ

毛利昭生



庄原市医師会長

healthy column



大腸がんが増えています

日本では、これまでがんになる人中でも多かったのは胃がんです。しかし、生活習慣の欧米化に伴いその率は減少傾向を示す一方、大腸がんにかかる人が増えています。

厚生労働省の人口動態統計によると、平成17年度に大腸がんで亡くなった方の数は、男性では、肺がん、胃がん、肝臓がんに次ぐ第4位。女性ではすでに第1位となっています。

すぐ内視鏡検査を受けるのではなく専門医で受診を

大腸内視鏡検査は、新しい前処理薬の開発と挿入技術の向上により、大腸のスクリーニング（症状が現れてくる前のがんを発見する）検査として普及しています。X線造影検査では見つけにくい平坦型早期大腸がん（ポリープ以外のもの）がたたくさん見つかり、内視鏡で治療できるようになっています。

こうした内視鏡検査による早期発見・早期治療は大腸がん撲滅に重要ですが、大腸は長くて屈曲が多いため、検査時に苦痛を伴うこともあるので、まずは専門医での受診をお勧めします。

便潜血検査を受けましょう

大腸がん検診は、費用対効果・精度・安全性などを考慮して、初めから内視鏡検査をするのではなく、平成4年から40歳以上のすべての国民を対象にした「免疫学的便潜血検査2日法」が用いられています。

この検査法は、任意型健診や人間ドック、職域健診で行われてはいるものの、全体の検診受診率は20%と低いままで推移しています。

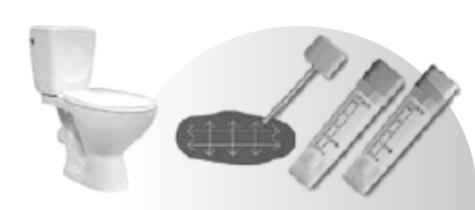
大腸がんから自分を守るためにも、ぜひ便潜血検査を受けましょう。

●日本のがん罹患率（平成17年度）

性別	1位	2位	3位	4位
男性	1位 肺がん	2位 胃がん	3位 肝臓がん	4位 大腸がん
女性	1位 大腸がん	2位 胃がん	3位 肺がん	

●平成23年度がん検診受診率

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
広島県	10.3%	16.1%	17.6%	29.1%	24.0%
庄原市	18.5%	22.7%	23.0%	27.1%	20.7%



大腸がん検診方法

2日間便を採取します。便の表面をまんべんなくこすり、容器に戻し、検診機関に提出します。自宅で簡単にできます。

広島県民よ！  
まだ受けておらぬのか。  
「がん検診」

広島県がん検診啓発特使に就任されたデーモン閣下。広島県民にがん検診の受診を呼びかけています。





### Report 3 夏の帝釈峡の魅力を満喫 帝釈峡ウォーク

国定公園帝釈峡を散策する「帝釈峡ウォーク」が、7月14日に開催されました。

誰でも気軽に参加できる「かわせみコース（全長約5\*）」と、神龍湖トレイルセンターをスタートしてまほろばの里まで歩く健脚向けの「はんざきコース（約9\*）」が用意され、広島市や福山市をはじめ市内外から約300人が参加しました。

かわせみコースでは、植物や岩の由来などを紹介するボランティアガイドが参加者を案内し、雄橋にある給水所では、東城高校「東城応援隊」のメンバーがお茶を振る舞いました。

午後からは、東城中学校吹奏楽部の演奏を聞きながら、川魚の塩焼きや山菜おこわ、トマトとキュウリの丸かじりなど地元の味を楽しみ、帝釈峡の魅力を満喫した一日となりました。



▲ボランティアガイドから雄橋の説明を受ける参加者

### Report 4 上位入賞を目指し操法訓練本格化 比和方面隊が広島県ポンプ操法競技大会出場へ

庄原市の代表として広島県ポンプ操法競技大会へ出場する庄原市消防団比和方面隊第2分団第2部の選手が、9月7日に行われる大会本番へ向け、本格的な訓練



▲熱を帯びる訓練

に取り組んでいます。

ポンプ操法は、火災現場での基本的な動作、器具操作、そして正確な放水技術を身に付けるために行われる消防団の訓練の一つで、大会では一連の動作の速さと正確性を競います。

比和方面隊は昨年夏に行われた庄原予選大会で優勝し、今回の県大会へ駒を進めました。訓練は今年の3月に開始され、厳しい訓練を重ね、操法技術に磨きをかけています。

訓練を指揮する梅津孝晴比和方面隊長は「選手をはじめ、団員の頑張り大会本番で実を結んでほしい。この大会を通して、より一層強固な消防体制を築き、地域へ貢献していきたい」と語り、大会での活躍へ決意を新たにしていました。

### Report 5 かわいい幼虫をじっくり観察 総領小がオオムラサキ観察会

総領小学校3年生11人が7月2日、8年前からオオムラサキの保護繁殖に取り組んでいる総領町黒目の和田賢壯さん宅を訪れ、オオムラサキを観察しました。

児童はまず、和田さんからオオムラサキの成長の過程や繁殖の難しさなどの説明を聞き、その後ハウスの中でオオムラサキを観察。成虫のオオムラサキはあまり見られませんが、小さな幼虫を観察しながら、「かわいい」「家で飼いたい」とスケッチする児童もいました。

和田さんは「今年は幼虫が900匹も生まれたため、餌となるエノキが不足した。そのため、羽化が20日ほど遅れたが、子どもたちが幼虫でもよく観察していて感心した」と話していました。



▲和田さんの説明を聞く児童

市内のイベントやまちの話題をお届けします。  
身近でホットな情報をお寄せください。  
情報政策課広報広聴係  
☎ 0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

### Report 1 本市出身の坂口直樹さんが三楽荘で個展開く 書家・詩人 坂口直樹書画創造展「楽」



▲大筆書道パフォーマンスに固唾を飲む観客

7月5日から15日までの11日間、本村町出身の書家・詩人、坂口直樹さんの書画創造展が、庄原市三楽荘で開催されました。

本館と離れに約80点の作品が展示され、期間中の土日には自由に書が楽しめる教室や大筆書道パフォーマンス、手巻きオルゴールや津軽三味線、二胡などのミニコンサートもあり、東京や徳島など遠方からの方を含め、延べ1,500人が来場しました。

坂口さんは「故郷で個展を開くことができとても感謝している。三楽荘がまちづくりの拠点となり、たくさんの方々を訪れ、地域の活性化につながるよう応援させていただきたい」と話していました。

### Report 2 「住宅デー」で修繕ボランティア 広島県建設労働組合第12地域連合庄原が奉仕活動

広島県建設労働組合第12地域連合庄原の52人が6月22日から30日にかけて、市内の保育所・子育て支援センター・中学校・小学校・一人暮らしの高齢者宅を訪問し、施設などを修繕する技術奉仕活動を行いました。

12人の組合員が訪れた山内保育所では、所内の建具の調整や、各保育室用に木製の掃除道具入れを製作。園児たちは、組合員の手際よい仕事ぶりを見入っていました。

山内保育所の妹尾文恵所長は「閉まりにくかった戸が閉まるようになるなど、状態の悪かった部分を直していただけて大変ありがたい」と喜んでいました。

この奉仕活動は、全国統一「住宅デー」の6月25日を中心に、全国各地の建設労働組合が毎年行っています。



▲山内保育所で修繕作業する建労組合員の皆さん



## Report 9 贈り物に笑顔あふれる 第2回レガロフェスタin水夢

催し物を通して贈り物を届けることをテーマに、「第2回レガロフェスタin水夢」が6月23日、西城温水プール『水夢』で行われました。

温水プール内ではアクアエクササイズやベブースイ



▲笑顔でジャンプ！（ベブースイミング）

ミング、県立広島大学庄原キャンパス水泳部による水中パフォーマンスなどが行われ、野菜のレシピや健康の知識についての展示コーナーの設置、骨盤体操体験なども行われました。

ベブースイミングでは4組の親子が参加し、フジタドルフィンクラブM I Y O S H I の中間祐子さんの指導を受けながら、楽しくスイミング。最初は怖がっていた子どもも次第に慣れ、終わりごろには笑顔でしゃいでいました。

今回始めて参加した山本陽子さん（西城町）は「水夢はよく利用するが、先生に教わりながらだと違った雰囲気でも楽しめた」と話していました。

プール横の芝生の広場では各種バザーが開かれ、西城産の食材を使用したネギ味噌豚丼や野菜ジュース、西城産手打ちそばなどが並びました。ヒバゴンTシャツやひろしま牛、カーブグッズなどが当たるお楽しみ抽選会もあり、来場者はたくさんの贈り物を受け取り笑顔があふれていました。

## Report 10 清掃活動で地域への愛着を 庄原青年会議所主催の清掃ボランティア

社団法人庄原青年会議所が主催する「しょうばら清掃活動～美しく豊かなまちづくり～」が7月7日に行われ、庄原地域の中学・高校、自治振興区など10団体、一般参加を含め158人が参加しました。

参加者は9つのグループに分かれ、国営備北丘陵公園周辺やジョイフル、田園文化センターなど市内中心部、県立広島大学から国道183号線にかけての道路や水路など7区間、約16.5キロに渡ってゴミを拾って回りました。

また、県大通りから丘陵公園入り口周辺までの市道のガードレール2.4キロを、スポンジや洗浄機などを使って汚れを落とし、備北オートビレッジ入口周辺の



▲ガードレールを丁寧に磨く参加者



▲みんなで楽しくペイント

ガードレール約60メートルには、市の花である「桜」をモチーフにみんなでペイントしました。

庄原青年会議所の齊森大助理事長は「地域の皆さん、中高生の生徒の皆さんとともに一体感ある清掃活動ができた。この活動を通して、環境整備に対する意識を高めてもらい、ふるさとへの愛着につながってくればうれしい」と話していました。

## Report 6 自分の思いを英語で披露 第9回中学生による英語スピーチ大会

庄原ロータリークラブ、しょうばら国際交流協会、市教育委員会の3者共催による「第9回中学生による英語スピーチ大会」が6月16日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

市内7中学校から10人の中学生が参加し、これまでの経験で学んだこと、家族や地域への思い、感じたことなどを英語でスピーチ。家族や教諭などに見守られる中、それぞれ自分の思いを堂々と発表しました。

市内の学校に勤務する外国語指導助手による審査が行われ、3人の生徒に優秀賞が贈られました。

- 優秀賞 加島菜々子さん（高野中3年）
- 森川 佳奈さん（東城中3年）
- 瀬尾 稜那さん（東城中3年）



▲全員で記念撮影

## Report 7 音楽を通じ世界平和へのメッセージ ピース・アーチ・ひろしまプロジェクトコンサート



▲広島交響楽団四重奏

「ピース・アーチ・ひろしまプロジェクトコンサート」が6月30日、東城文化ホールで開催されました。

このコンサートは、音楽を通じて世界平和のメッセージを広島から全国に発信し、平和の心とつながりが生まれるきっかけをつくるため、県内各地で開催されるリレーコンサートです。

第1部はヴァイオリン吉田美里さん・ピアノ新宅雅和さんによるアンサンブルが、第2部は広島交響楽団四重奏コンサートが行われ、300人を超える聴衆が会場に詰め掛けました。

クラシックの名曲からおなじみの曲まで全18曲が演奏され、来場者はプロの演奏と生の迫力に酔いしれました。

## Report 8 連携してまちなかをきれいに 高野小・中の児童生徒がクリーン大作戦

高野小学校の児童92人と、高野中学校の生徒47人が7月12日、町内にある施設周辺の清掃活動をする「クリーン大作戦」に取り組みました。

この取り組みは、両校の交流と地域貢献を目的に初めて実施されました。

児童生徒は、上高自治振興センター、高野福祉保健センター、市役所高野支所の3カ所に分かれ、施設周辺の草取りや、溝そうじなどを約1時間かけて行いました。

高野中学校の清永尚子校長は「地域に貢献する活動を通して、社会参加の意欲や高野を愛する心を育ててほしい」と話していました。

▶歩道の草取りをする高野小・中の児童生徒



生活相談

身体障害者補装具判定会

「聴覚」8月22日(木) 受付 13時～14時

ところ

広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4・6・1 ※1週間前までに社会福祉課 障害者福祉係へ予約を。 ☎0824・73・1210

障害者相談員定期相談会

「庄原地域」

○知的 9月9日(月) 13時30分～16時30分 ところ 庄原市ふれあいセンター ※事前予約もできます。 問い合わせ 社会福祉課障害者福祉係 ☎0824・73・1210

定期巡回児童相談

広島県北部こども家庭センターが子育てに関する相談に応じます。 ●庄原地域 とき 8月22日(木)・9月19日(木) 10時～15時

ところ 庄原市ふれあいセンター ※1週間前までに女性児童課 女性子ども支援係へ予約を。 ☎0824・73・0051

●東城地域

とき 8月23日(金)・9月27日(金) 10時～15時 ところ 東城支所 ※1週間前までに東城支所市 民生活室へ予約を。 ☎08477・2・5131

健康相談

広島県北部保健所(三次市十日市東)で実施する健康相談です。事前に電話でご予約ください。秘密は厳守します。 ○心の健康相談 ストレス、うつ病などの心の健康に不安のある方やその 家族からの相談に応じます。 とき 8月20日(火)・9月17日(火) 13時～14時 8月22日(木) 13時30分～14時30分 ※8月22日の会場は、東城支所です。 ○エイズ検査・相談 検査は無料・匿名で受けられます。結果はその日にお知らせ

らせていただきます。相談は随時受け付けています。 とき 8月21日(木) 13時～14時30分 申し込み・問い合わせ 広島県北部保健所保健課 ☎0824・63・5181

人権相談

各地域で人権擁護委員が相談に応じます。 ●庄原地域 とき 8月20日(火)・9月3日(火) 13時30分～16時30分 ところ 庄原市ふれあいセンター ●西城地域 とき 9月12日(木) 13時30分～16時30分 ところ 西城自治振興センター ●東城地域 とき 9月5日(木) 13時30分～15時30分 ところ 東城ふれあいセンター ●総領地域 とき 9月11日(木) 9時～11時 ところ 総領町健康福祉センター 問い合わせ

三次人権擁護委員協議会 ☎0824・62・2572

無料法律相談

広島弁護士会三次地区会弁護士が法律相談に応じます。 とき 9月7日(土) 13時～17時 ところ 東城支所 ※事前に予約が必要です。 予約・問い合わせ 東城支所市民生活室 ☎08477・2・5121

催し

「里山の暮らしの情景51点」 出版記念写真展

里山の暮らしの情景51点。 【文】正本眞理子 【写真】金山一宏 とき 9月1日(日)まで ところ 時悠館 問い合わせ 時悠館 ☎08477・6・0161

灰塚ダム「この夏のイベント」

国土交通省三次河川国道事務所、灰塚ダム管理所ではこの夏、ダム見学会やライト

募集

庄原絵手紙大賞作品募集

未発表の自作絵手紙(ハガキサイズ)二人2点以内 題材 自由 対象 市内在住または通学、勤務の方 募集期間 8月10日(土)～9月20日(金) 応募要領 作品の裏に、住所・氏名(ふりがな)・年齢(園児・児童・生徒は保育所・幼稚園・学校名・学年)・電話番号を記入して応募してください。表彰 一般・子どもの部それぞれに、大賞・優秀賞・奨励賞を贈ります。 その他 入賞作品、応募作品は、10月8日(火)～10日(木)に、市民ギャラリー「アート多愛夢」で展示します。入賞作品の著作権は主催者に帰属し、作品は返却しません。 応募先・問い合わせ

『東京家族』映画上映会

半世紀の間、その時代、時代の家族と向き合ってきた 山田洋次監督が、いま2012年の家族を描く・・・



瀬戸内海の小島で暮らす平山周吉と妻のみこは、子どもたちと会うために東京へやってきました。郊外で開業医を営む長男幸一の家に、美容院を経営する長女の滋子、舞台美術の仕事をしている次男の昌二も集まり、家族は久しぶりに顔を合わせる。

のんびりした生活を送ってきた両親と、都会で生活している子どもたちとは生活のリズムが違い過ぎて、少しずつ溝が出来ていく。そんな中、みこが突然倒れてしまう・・・

～切なく希望に満ちたエンディングの後に込み上げるのは 「家族に会いたい」という想いでいっぱいになります～

■とき 8月31日(土)上映13:30(開場13:00) ■ところ 庄原市民会館 ■入場料 一般 1,500円(当日1,800円) 60歳以上 1,000円(当日1,300円) ※高校生以下は無料(要整理券) チケット2大特典(市民会館での購入に限る。)

1. 先着200人または一度に3枚以上ご購入の方に限り入場料10%割引 2. 友の会会員の方はさらに10%割引 チケット販売中 前売券販売所 庄原市民会館/食彩館ゆめさくら/ザ・ビッグ庄原店/ジョイフル/サングリーン/CCプラザ

問い合わせ NPO法人 庄原市芸術文化センター ☎0824-72-4242 生涯学習課社会教育係 ☎0824-73-1188

☎0824・72・5453 商工観光課商工振興係(庄原市中本町一丁目10番1号) ☎0824・73・1178



日本鍼灸師会会員 なかしま東洋鍼灸院 〒728-0013 広島県三次市十日市東2-12-20 (三次市街地循環バス「くるるん」⑩番三次医療センター下車) TEL (0824) 63-0581

■予約制 朝の部 9:00～11:30 昼の部 14:00～16:00 夜の部 17:00～19:00 休診日:日曜・祝日・水曜午後 往診も承ります。健康保険治療もできます。(医師の同意が必要です。)



配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか? あなたの不安な気持ちをお話ください。 庄原市役所女性児童課女性子ども支援係 ☎0824-73-1243

広島県西部	☎082-254-0391	月～金 10時～17時
子ども家庭センター	休日夜間電話相談 ☎082-254-0399	月～金 17時～20時 土日祝 10時～17時
広島県北部	☎0824-63-5181(代)	月～金 10時～17時
子ども家庭センター	内線 2313	

募集種目		応募資格	受付期間	試験期日
防衛大学校 学生	推薦	高卒 (見込み含む) 21歳未満	9月5日～9日	9月28日・29日 1次:9月28日 2次:11月2日・3日
	総合選抜		9月5日～30日	1次:11月9日・10日 2次:12月10日～14日の間指定された日
	一般(前期) 一般(後期)		1月22日～31日	1次:3月1日 2次:3月13日
防衛医科 大学校 医学教育部	医学科学生		9月5日～30日	1次:11月2日・3日 2次:12月18日～20日の間指定された日
	看護学科学生		1次:10月19日 2次:11月30日または12月1日	

※待遇・給与など詳しくは、三次地域事務所にお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ 自衛隊三次地域事務所 ☎0824-62-0350 / 総務課行政係 ☎0824-73-1123

### 広島県立農業技術大学校学生募集

広島県立農業技術大学校は2年制の専修学校で、農業の専門的な知識や技術、経営管理能力を養成しています。平成26年4月入学の学生を募集します。

学科・定員	本科40人程度 園芸課程(野菜・花きコース、落葉果樹コース) 畜産課程(肉用牛コース)	
修業年限	2年	
入学資格	将来農業に従事しようとする者および農業・農村の担い手を目指す者で、高卒または同等以上の学力のある者。	
入学試験	①推薦入試 ②一般入試(前期) ③一般入試(後期) ④社会人特別入試	願書受付日 試験月日 願書受付日 試験月日 願書受付日 試験月日 願書受付日 試験月日

問い合わせ 広島県立農業技術大学校教務課 〒727-0003庄原市是松町55-1 ☎0824-72-0094

### 人権作品募集

生命の尊さや生きることのすばらしさ、平和の大切さを表現した作品を募集します。応募資格は問いません。多くの皆さんのご応募をお待ちしています。

- 絵画・詩画・ポスター・写真などの部
- 標語の部
- 作文の部
- ◆ 応募方法
  - ◆ 作品は未発表のものに限り、一人1点とします。
  - ◆ 作品には、住所・氏名(ふりがな)をご記入ください。
  - ◆ 学校経由の場合は学校名・学年・氏名(ふりがな)をお願いします。
- ◆ 優秀作品の発表は「広報」

### その他

しょうばらで行い、人権講演会で表彰し、記念品を贈呈します。

◆ 作品を直接持参する場合は、生涯学習課または各支所教育室までお願いします。郵送の場合は、生涯学習課宛にお送りください。

募集締め切り  
9月30日(月)必着  
作品の郵送先・問い合わせ  
〒727-8501  
庄原市中本町一丁目10番1号  
市教育委員会生涯学習課  
☎0824-73-1188

● 特別障害者手当  
対象 身体または精神に著しく重度の障害があるために、日常生活で常時、特別の介護を必要とする状態にある20歳以上の者。(審査あり)

支給額  
月額2万6260円(原爆介護手当との支給調整あり)  
※10月分から2万6080円  
※施設へ入所、または3カ月以上入院した場合は、受給資格を失います。(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

市は、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児の言語能力の向上を支援するため、補聴器購入費用の一部を助成します。

● 交付を希望する方は、補聴器の購入前に申請をお願いします。

対象者  
市内に住所があり、次の①②のいずれにも該当する18歳未満の難聴児の保護者。

①両耳の聴力レベルが原則と

たたとえば、イベントに参加したときには、プログラムなどの資料や持ち込んだペットボトルなどは各自で持ち帰るなど、道路を汚さないように心掛けてください。

誰もが毎日使う道路です。これを契機に、道路について見直してみませんか。

問い合わせ  
建設課管理係  
☎0824-73-1150

格を失います。(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

● 障害児福祉手当  
対象 身体または精神に重度の障害があるために、日常生活で常時、介護を必要とする状態にある20歳未満の人。(年金受給者は対象外)

支給額 月額1万4280円  
※10月分から1万4180円  
※施設に入所した場合は、受給資格を失います。  
(この場合、必ず資格喪失届を提出してください)

《支給月》  
いずれの手当も2・5・8・11月に前3カ月分の手当を支給

《手続きに必要なもの》  
診断書(指定の用紙)、印鑑所得状況届、年金・恩給受給額の確認書類、振込先通帳など。  
手続き・問い合わせ  
社会福祉課障害者福祉係  
☎0824-73-1210  
各支所市民生活室

8月30日から「特別警報」の発表が開始されます  
気象庁はこれまで、大雨や津波、高潮などにより重大な災害の起る恐れがある時に、警報を発表して警戒を呼

びかけていました。  
今後は、より甚だしい大雨や大きな津波などが予想され、重大な災害の危険性が高まっていることをお知らせし、特別な警戒を呼び掛けるために、新たに「特別警報」を発表します。

特別警報の対象とする現象は「東日本大震災」我が国の観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもたらした「平成23年台風第12号」の豪雨などが該当します。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状況や、避難指示・勧告などに留意し、直ちに命を守るための行動をとってください。

また、大雨などの被害を防ぐには、時間を追って発表される注意報、警報やその他の気象情報を利用して、早め早めの行動をとることがあなたや家族の命を守ります。

特別警報の詳細は、気象庁ホームページで確認ください  
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/tokubetsu-keiho/index.html>

9月1日は「防災の日」です  
大正12年9月1日に発生した関東大震災を教訓に、災害への備えを忘れないようにと、毎年9月1日を「防災の日」として定められています。また、「防災の日」を含む8月30日～9月5日までの一週間は「防災週間」です。

この機会に、台風、地震などの災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備しましょう。

問い合わせ  
危機管理課危機管理係  
☎0824-73-1206

8月は「道路ふれあい月間」です  
「ゆずり合い せまい道路も広くなる」  
(平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語最優秀作品) 私たちが日ごろ何気なく使っている道路には、色々な機能があります。自動車や歩行者などが通行するための用途のほか、上下水道管などの

## 家電は正しくリサイクル!

違法な不用品回収業者を利用しないでください

違法回収車

違法回収会場

家電回収

いらなくなった家電の正しいリサイクル方法

エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機は、家電リサイクル法の対象です。次の①～③の方法でリサイクルしましょう。

- ①新しい家電を購入するお店に引き渡す。
- ②処分する家電を購入したお店に引き渡す。
- ③市町村が案内する方法でリサイクル。(購入したお店が分からないときなど)

※リサイクル料金と運搬料が必要。上記以外の家電はお住まいの市町村のルールを守って処分してください。

不用品回収業者に家電を渡すと……  
国内外の環境汚染や健康被害につながります!  
不用品回収業者に回収された廃家電の多くは、不法投棄され、不適切に処理されています。冷蔵庫、エアコンにはオゾン層の破壊や地球温暖化を引き起こすフロンガス、古いテレビには有害な鉛が含まれています。適切に処分しないと、環境汚染や健康被害につながってしまいます。

建設課管理係  
☎0824-73-1150

経済産業省 環境省 詳しくは 環境省 いらなくなった家電

# イベント盛りだくさん!! 夏まつり開催中!

## 8月31日(土)まで



備北公園管理センター  
☎ 0824-72-7000 (<http://www.bihoku-park.go.jp/>)



公開期間  
8月上旬～中旬頃まで  
※天候によって、開花時期が変更する場合があります。  
※最寄り駐車場 第2駐車場

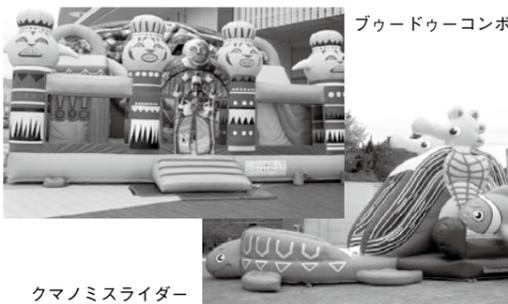
### 1万本のヒマワリ畑

● ひばの里の昔体験(期間中毎日)  
● キッズフェスタ2013(8/10・11)  
● カナディアンカーヌー体験(8/4・10・15・18・25)

### 夏休み特別企画

公園では、8月31日(土)まで「夏まつり」を開催しています。  
この夏、園には新たな遊具が次々登場します! 大人気の「水遊びコーナー」や「林間アスレチック」など、ひばの里の「昔遊び体験」もより充実し、ご家族みんなで楽しめるイベントが満載です!

### 遊具情報



7種類の遊具が新登場!  
● 常設アスレチック遊具(林間アスレチック)  
● ロープクライマー、トランポリン、ロープウェイの3種類  
● ふわふわ水遊び遊具(大芝生広場)  
※8/25までの期間限定。有料。パドルボート、クマノミスライダーの2種類。  
● 屋内ふわふわ遊具(エントランスセンター2F)  
※8/25までの期間限定。有料。ウッドドゥーコンボ、レスキュースクアードの2種類。

### 「ジャブジャブ池」

開催期間 9月1日(日)まで  
利用時間 9時30分～17時  
ところ 備北オートビレッジ

### カブトムシドーム!

ドーム内には、新登場の「クワガタエリア」も登場!  
公開期間 8月18日(日)まで  
※カブトムシの発生状況によって、変更する場合があります。  
公開時間 10時～17時(いこいの森入園は16時まで)  
ところ いこいの森

### 秋まつり情報

期間 9/14～10/20  
今年約100品種150万本のコスモス内に庄原ふるさと大使でもある日本を代表するガーデナー石原和幸プロデュースの庭が新登場! 庄原市共催イベント花と緑の祭典 庄原さとやまガーデンフェスティバルを開催予定(9/14～16)  
※詳細は、電話または公園ホームページでお問い合わせください。

～お詫びと訂正～

園 教育指導課 0824-73-1184

広報しょうばら2012年11月号13ページに掲載しました自己肯定感の説明については、田中氏の博士論文の定義に基づくものであると、そのことを十分認識せずに使用したものでした。  
同氏に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深く反省し、心よりお詫びします。  
また、関係各位に多大なるご迷惑をおかけしたことをお詫びしますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

自己肯定感  
「自己に対して前向きで、好ましく思うような態度や感情のこと」

引用元: 田中道弘のホームページ「自尊心、自尊感情、Self-esteem、自己肯定感について考える」  
(<http://homepage3.nifty.com/self-esteem/>)

## ろうきん庄原市提携ローン

《融資金利》年1.83% [固定金利] (保証料別)

(表示金利: 2013年4月1日現在)

《融資条件》 取扱期間 2014年3月31日まで

資金用途	住宅費・教育費	冠婚葬祭費・医療費 介護用品購入費
融資限度額	500万円	200万円
返済期間	最長10年	最長5年
返済方法	毎月返済、または毎月・ボーナス併用返済	
保証	(-) 日本労働者信用基金協会	
保証料率	年0.7% または 年1.2%	

申し込み条件(下記すべてに該当する方)

- 庄原市に住んでいる方、または勤務している方
  - 居住年数および勤続年数が1年以上の方
  - 前年税込年収が150万円以上の方
- ※審査の結果、ご融資できないなど、ご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

申し込み・問い合わせ

中国労働金庫三次支店 ☎0824-63-4221  
中国労働金庫庄原相談センター ☎0824-72-1007

## 全国大会

あっぱれ 庄原  
全国レベルの大会出場者、全国種大会などの上位入賞者を掲載します。(敬称略)

- 写真部門 (7月31日～8月4日・長崎県)
- 須應 僚哉(庄原格致高3年)
- 三嶋 勇吾(庄原格致高3年)
- 宇津宮 未樹(庄原実業高3年)
- 金山 新平(庄原実業高2年)
- 田邊 春霞(庄原実業高2年)

あっぱれ 全国高等学校  
定時制通信制体育大会

- 卓球大会 (8月6日～8日・東京都)
- 女子シングルス 平田 美咲 (三次高校定時制1年・川北町)
- バドミントン大会 (8月19日～22日・小田原市)

## 西日本大会

あっぱれ 西日本学童軟式野球大会  
(8月23日～26日・大阪府)  
東城ファイターズ

## 県大会

あっぱれ 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会広島県決勝大会  
(6月22日～23日・府中市桜が丘グラウンド)  
準優勝 東城ファイターズ



● 女子シングルス  
福原 愛美  
(三次高校定時制1年・濁川町)

あっぱれ ヤングリーグジュニア  
選手権全国大会  
(7月27～28日・兵庫県)  
○ 硬式野球  
三田 脩也(庄原中2年)

広告 住友不動産の「新築そっくりさん」  
古民家に新たな息吹、美しき再生。  
住友不動産 新築そっくりさん 広島東営業所  
〒739-0011 広島市西条本町7-29(林ビル1階)  
TEL082-431-3525 FAX082-423-1751  
フリーダイヤルでお気軽にお問い合わせ下さい。  
0120-093-395  
ホームページからも資料の請求ができます。  
新築そっくりさん 広島 で 検索 <http://www.sokkuri3.com/>

しょうばら九日市  
毎月9日は、しょうばら九日市  
★出店者募集中! あなたのお店を開こう。  
★毎月20日が出店申込締め切りです。  
★申し込みは交流サロンラッキー ☎0824-72-0075 まで  
とき 9月9日(月) 9時～13時  
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)  
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.main.jp>

広告 一人で悩まないで  
まず相談してください。  
業務のご案内  
● 不動産の名義変更 ● 成年後見  
● 相続登記・遺言 ● 会社の登記  
● 借金の整理 ● 簡易裁判所訴訟代理等  
● 詳しくはホームページに書いています。  
司法書士 飯田 一生  
庄原 司法書士 検索  
広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号) (広島司法書士会所属)  
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナシヤ2階 TEL0824-72-2315(要予約)





▲ミュージックエンタ終了後、出演者全員で撮影



荒木伸二さん



岡田麻未さん



前谷邦治さん



坂口靖子さん



藤元竜二朗さん

実行委員会(J.J.)のメンバー。現在はこの5人で活動中



▲毎週火曜日に荒木さん宅に集まり約3時間練習。

## 第20回ミュージックエンタ

とき 8月18日(日)  
開演13時(会場12時30分)  
終演17時予定  
ところ 庄原市ふれあいセンター  
(コパリホール)

※入場無料、出入り自由  
※マナーを守って観覧すること

### 子どもたちが成長する 社会教育の場

ミュージックエンタの出演条件は厳しい。その厳しさとは「当たり前のこととする」ということ。実行委員長の藤元竜二朗さんは「バンドに対して良いイメージを持ってもらうには、行動で示す以外にない」と強調する。まずはあいさつすること。「あいさつは基本。気持ちいいステージは気持ちいいあいさつから始まる。これができる

なければ出演はお断りする」。そのほかにも出演中はゴミを散らかさない、ゴミが出たときは持ち帰る、イベント終了後はみんなで片付ける、会場周辺を清掃する、校則や法律に反することは絶対にしないなど。それは出演者だけでなく、ライブを見に来た友人や家族にも求めた。たばこを吸ったり、髪を染めたりしている者がいたときにはその場で注意し、すぐに帰らせた。最初の頃は注意することが度々あったが、「今では注意することはほとんどなくなり、会場周辺にゴミが落ちていたりもほとんどない」と胸を張る。回を重ねるごとに、その思いが子どもたちに伝わっている。保護者の信頼にもつながっている。「子どもの演奏を聴きに來る親も増え、孫の活躍を一目見ようと足を運んでくるおじいちゃんおばあちゃん姿も多くなった」とメンバーの声も弾む。今は

子どもたちを預かっているという責任と重みを感じている。目標は20回目を成功させること。ミュージックエンタは平成18年11月に第1回目を開催。昨年12月に開催した第19回までに出演したバンド数は延べ175バンド、出演者数は延べ685人に上る。荒木さんは「20回と言っても1回1回を積み重ねた結果ではない」と言う。しかし、出演者のほうが特別な思い入れを持っている者もいる。過去の出演者の中には、インディーズで活躍している者も。今回その卒業生から出演させてほしいと依頼があった。「全国で活躍しているのに、こういう形で声をかけてくれたことが本当にうれしい。彼らが出演してくれることで、中高生らの励みにもなる」と

思う」と喜ぶ。今回は、できるだけ多くのバンドに参加してもらいたいと、いつもより申し込み期限を延ばした。そのため、いつもなら7月上旬には完成しているポスターの完成が、半月以上遅れた。藤元さんは「それだけミュージックエンタを楽しみにしてくれているということ。バンドをしたいと思う中高生が1人でもいる限りエンタを続けていきたい」と誓う。実行委員会のメンバーもJ.J.としてミュージックエンタに出演する。「一緒にステージに立つと子どもたちの成長を感じる。僕たちも負けていられない」。子どもたちから刺激を受け、練習にも力が入っている。「楽しそうに演奏している姿や上達する姿を見るとうれしい。今回もどれだけのものを見せてくれるか楽しみに」と気持ちを高ぶらせている。



## 中高生の『笑顔』と歴史を積み重ねて20回

# ミュージックエンタ



エンタ君

音楽と勉強の両立を目指し、勤勉の象徴である二宮金次郎像をモチーフにして作られたロゴ

中学生・高校生のための音楽舞台『ミュージックエンタ』。8月18日の開催で20回の節目を迎える。これまでの活動と歩み、思いなどを関係者に聞いた。

### 中学生・高校生が輝ける場所を作りたい

平成13年8月、市内の音楽好き9人が集まり庄原よいとこパレードに参加した。「市内でバンドの生演奏ができる場所はあれくらいだった」と当時からのメンバー荒木伸二さんはこう振り返る。そのときのメンバーが中心となりバンドチームJ.J.を結成した。

活動を続ける中で聞いたのが、「ライブイベントに出たいが、自分たちが出られるような敷居の低いライブがない」という声だった。ライブイベントに出演することはお金がかかる。当時はバンドをする人は怖いという見方をされやすく、「実際に怖いイメージを持たれる大人の存在もあった」と荒木さん。マイナスイメージを変えたいと強く思っていたメンバーは「自分たちが出たいと思うライブを庄原に作ろう」と心に決めた。

ふと、ライブイベントに出られないグループに目を向けてみると、中学生バンドが多いことに気付いた。「大学生であれば自分たちでライブ会場を探ることができる場所を作ってやりたい」。J.J.のメンバーは実行委員会を立ち上げた。ミュージックエンタはここからスタートを切った。

# 乗りんさい 芸備線



VOL. 8

## 東城駅

東城駅は当時の国鉄三神線の一部として、昭和5年11月25日に開業しました。開業時は新見から伸びてきた線路の終点で、東城駅周辺は大変な賑わいだったと言います。ホームにはかつて走った急行の案内表示がうっすらと残り、往時を偲ばせます。

2歳になった息子は列車が大好きで、朝、昼、夕と東城駅まで列車を見に行きます。まだ時計は分かりませんが、列車が駅に着く時間近くになると、「じかんよ!」と声をかけてくれます。生まれて間もない頃から夜も遅くまで寝ず、夜泣きもひどく、駅で子守りをしていました。今では熱狂的なファンです。運転士さんに抱いてもらい、運転席に座らせてもらって、うれしい経験ができました。  
藤岡 佳子 (東城町)

大好きな列車と一緒に写る輝くん (平成25年5月10日撮影)



庄原の食材を扱うお店を応援します!



おいしいものは  
庄原地産推進店  
地元にあり!!

## 手打ちうどん ゆず



所 上原町 2624-1  
 ☎ 0824-72-7065  
 営 11時~14時30分  
 17時30分~21時 (月曜日は14時30分終了)  
 休 火曜日・第2、第4月曜日

取り扱う市内産食材  
米、野菜、牛肉



### ▶▶▶ 店長の秋津幸也さんに聞きました。

**なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか?**  
 以前から地元の食材を使用するように心掛けていたのですが、推進店登録をきっかけに、地元の方や遠方から来られた方たちにもその魅力をもっとアピールできたらと思いました。

**お店の推進店としてのこだわりは?**  
 豊かな自然に恵まれたこの地で、四季折々の山菜、野菜、魚、肉など、この庄原でしか味わえない食材を取り入れた独特なうどんを作っていきたいと思っています。

**皆さんへ一言**  
 手打ちにこだわったうどん屋です。季節限定のうどんや旬の食材を使った一品料理など、いろいろ取りそろえています。ぜひお越しください!

▶えび天ぶっかけうどん (1,180円)



『庄原地産地消推進店』に登録しませんか? 市は随時、地産地消推進店を募集しています。詳しくは、保健医療課健康推進係 (☎ 0824-73-1255) まで。

## 広告



皆さん会場でお待ちしております

数々のヒット曲と、笑いを誘う軽快なトーク —ようこそ前川ワールドへ—

# 前川 清 ショー

10/7 (月)

開演 昼13時 (1回公演) 庄原市民会館  
 夜18時半 (1回公演) 三原市芸術文化センター (ポホロ)

■料金■ S指定席 6,000円(税込)

■主催■ RCC中国放送 ◆お問合せ◆ ソワード(株)099-223-8005 鹿児島市西千石町14-10第7心友館101

### ■プレイガイド■

庄原公演 / 庄原市民会館・ゆめさくら  
 カラオケ喫茶 響・庄原ショッピングセンター  
 ジョイフル  
 三原公演 / 三原市芸術文化センター (ポホロ)  
 フクハラレコード・うきしろロビー  
 共通 / ローソンチケット・チケットぴあ・eプラス

チケットは  
絶賛発売中!